

THE 9TH ANNUAL ALL JAPAN STUDENT

ENGLISH PRESENTATION CONTEST



Presented by Kanda Gaigo Group & The Yomiuri Shimbun

第9回 全国学生英語 プレゼンテーションコンテスト

本選 **2020.11.28** Sat.

開催地:よみうり大手町ホール(予定)

2次予選オンライン **2020.11.21** Sat.

※現時点ではコンテスト実施予定ですが、今後の状況を鑑み大会開催が変更となる可能性もあります。予めご了承ください。



〈応募締切〉
Submission deadline

2020.10.20 Tue.

全国学生英語
プレゼンテーション
コンテスト



先輩たちのプレゼン、インタビューなど配信中!



●対象者 **大学生／大学院生／短期大学生／専門学校生／高等専門学校生** 4年以上の

※学校教育法で定める大学、大学院、短期大学、専門学校および4年次以上の高等専門学校に在籍する正規課程学生(研究生や短期留学生、科目等履修生は除く)。

※ただし、以下の者は対象外とする。

本人または保護者が英語を母語とする者 / 英語圏での6歳以上の就学経験・留学経験が合計13か月を超える者 / 国内外にあるインターナショナルスクールや外国大学日本校に就学した者

※本大会の参加資格における「英語圏」についての説明や、具体的な国名・地域名はコンテストホームページでご確認ください。

Theme 01

これからの時代に必要な
教育のあり方を提案!

奨学金 **100** 万円

文部科学
大臣賞
(最優秀賞)

文部科学大臣賞状、
ジャパン・ニュース購読(半年分)、トロフィー
読売新聞社海外支局インターンシップ
参加権利(希望者)、その他

優秀賞

1組

Theme 02

全国の無人駅を活用!人々が集う
クリエイティブな企画を提案

奨学金 **30** 万円

賞状、トロフィー
ジャパン・ニュース購読(半年分)
その他

インプレッシブ賞
(審査員特別賞)

1組

Theme 03

地球規模の気候変動問題に
自分たちができる事を提案!

奨学金 **20** 万円

賞状、トロフィー
ジャパン・ニュース購読(半年分)
その他

各テーマより1組ずつ

奨励賞

奨励金5万円
受賞者以外の本選進出者

トップ50賞

TOP50 証明書
その他
得点上位50名(組)

ホープ賞

大会参加証
2次予選出場者全員に

〈主催〉 神田外語グループ 読売新聞社

〈後援〉 文部科学省 / 外務省 / 米国大使館 / 一般社団法人国立大学協会 / 一般社団法人公立大学協会 / 日本私立大学団体連合会 / 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会 / 一般社団法人全国外国語教育振興協会

全国学生英語プレゼンテーションコンテスト

検索

<https://www.kandagaigo.ac.jp/contest/>

※2020年6月24日現在

ENGLISH PRESENTATION CONTEST

グローバル社会での活躍を期待される学生たちのスキルアップの場として、第9回全国学生英語プレゼンテーションコンテストを開催します。本選審査員は国際社会で活躍されている方々。この大会を通して、語学力と表現力を高め、論理的な思考力や独創性を追求して下さい。テーマを深堀する際には国内のみならず海外の事例にも目を向けてみて下さい。英語で発表することにより、世界の多様な背景を持つ聴衆にうたえる力を養ってほしいと思います。実現の可能性が高いというだけで評価されるわけではなく、オリジナリティに溢れるアイデアというだけで評価されるわけでもありません。両方の観点を総合して審査します。

課題：「世界に目を向け思考する」

次の中からひとつ選択し、プレゼンテーションを行う。

※内容は変更となる場合があります。

応募の際は公式ホームページ情報を、必ず確認してください。

Theme 01

これからの時代に必要な教育のあり方を提案！

新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大をきっかけに、教育のあり方が問われています。学校に行けず、授業のイメージが大きく変わりました。しかし、このような状況は、改めて「教育」というものを考え直すチャンスでもあります。今回の危機を受け、皆さんも新たな経験、気づきがあったと思います。コロナ後を見据えて、日本における、新しい教育のカたちを提案してください！

Point

従来の学校という場所や学習方法にとらわれず、あり方そのものを考えてみてください。他国での取り組みにも目を向け、コミュニケーションの取り方、ネットワークの築き方、社会との関わり方など幅広い観点から、既存の枠組みを超えた発想を期待しています。児童から学生まで、対象は問いません。予想される障害や、その解決策も考えてみてください。

Theme 02

全国の無人駅を活用！ 人々が集うクリエイティブな企画を提案

日本全国に数多くある鉄道の無人駅。少子高齢化が進み維持が難しい路線も増える中、駅を自由に使い、人が集い、駅や街ににぎわいを創る企画を立てることになりました。提案内容は駅や鉄道路線を活用したサービス、最新技術を駆使した実験や、環境を活かした案など、何でも構いません。一過性のイベントで終わらない、地域も鉄道も成長できるような案を期待しています。

Point

具体的な駅や路線の利用を想定して、提案してください。複数の駅、路線を含めた案でも構いません。人々が集い、駅や路線・地域に価値を生み出す事が目的です。日本人だけでなく、新たな日本の体験を楽しみにしている外国人客も巻き込み、ブームとなるような企画を期待しています。
※このテーマに関しては、駅や鉄道の使用許諾を取得しなくてもかまいません。

Theme 03

地球規模の気候変動問題に 自分たちができる事を提案！

現在深刻な問題となっている地球温暖化。石炭火力発電への依存や化石燃料への投資など、脱炭素化が進まず日本は環境後進国とも言われています。国や業界など大きな枠組みで取り組むと同時に、私たち一人ひとりの行動の変化で、未来を変える事が出来るかもしれません。気候変動問題に対し個人レベルでできる工夫を提案し、一人でも多くの方が行動できるような案を発表してください。

Point

国連気候変動サミットでは、あらゆる国の政府、企業、人々に対し、気候変動対策の取り組みに加わるよう強く訴えています。CO2排出量をゼロにする活動や、食品廃棄物を半減させる活動なども対策の一環です。今回は、個人レベルでできることを提案してください。一人でも多くの人に地球環境問題に意識を向けてもらい、いかに無理なく継続できるかがポイントとなります。

大会概要

- 参加単位：参加単位は1名～3名とします。ただし、重複エントリーは認められません。
- 予選は応募データをもとに1次予選を行います。大会当日は1次予選通過者を対象に2次予選を実施し、本選進出者を決定します（変更となる可能性もあります）。
- 使用言語：英語（質疑応答も英語による）

応募概要

- 応募方法・締切は、ホームページでご確認ください。
- 2次予選オンライン：2020年11月21日（土）、本選：2020年11月28日（土）本選会場：よみうり大手町ホール（東京都・大手町）（予定）
- 応募資格・対象者：大学生、大学院生、短期大学生、専門学校生、4年次以上の高等専門学校生
- ※学校教育法で定める大学、大学院、短期大学、専門学校および4年次以上の高等専門学校に在籍する正規課程学生（研究生や短期留学生、科目等履修生は除く）。
- ※ただし、以下の者は対象外とする。

本人または保護者が英語を母語とする者 / 英語圏での6歳以上の就学経験・留学経験が合計13か月を超える者 / 国内外にあるインターナショナルスクールや外国大学日本校に就学した者
※本大会の参加資格における「英語圏」についての説明や、具体的な国名・地域名はコンテストホームページでご確認ください。

※2020年6月24日現在

応募方法などの詳しい情報は、コンテスト公式ホームページをご覧ください。

<https://www.kandagaigo.ac.jp/contest/>